

「無実のゴビンダさんを支える会」 10月学習会

「再審をとりまく情勢と私たちのたたかい」 ～ 国民救援会の支援運動の経験から ～

日時： 2006年10月7日（土） 午後2時から4時（開場1時30分）

会場： 渋谷区立勤労福祉会館（第3洋室）

JR 渋谷駅下車八丁公口より公園通り徒歩7分・パルコ2の向い側（裏面地図）

講師： 小川国亜氏

（日本国民救援会中央本部事務局次長 / 再審・えん罪事件全国連絡会事務局長）

趣旨： 昨年、長い間「冬の時代」と言われてきた再審に大きな動きがありました。名張事件（名古屋高裁）と布川事件（水戸地裁土浦支部）の開始決定です。一方、不当にも棄却された大崎事件（最高裁）と日野町事件（大津地裁）も、新たな闘いに立ち上がりました。このような情勢の中、日本国民救援会の第53回全国大会で「東電OL殺人事件」の再審開始を要請する決議が採択されました。

これから私たちがゴビンダさんの再審をどう闘っていくのか。国民救援会の長年にわたる豊富な経験に学ぶことにより、一緒に考えていきたいと思えます。みなさまのご参加をお待ちしています。

~~~~~  
日本国民救援会：

1928年設立。戦前は、反戦平和・主権在民を唱え治安維持法で弾圧された人々とその家族を救援した。戦後は、「人権と民主主義を守るための運動」を進め、とりわけ無実の人を救い出すことに大きな力を発揮している。 個人会員数、約5万人。

再審・えん罪事件全国連絡会：

1973年4月、えん罪で苦しむ人々を救うことを目的として、作家松本清張氏、佐野洋氏、評論家の青地農氏等の呼びかけで結成された冤罪犠牲者を支援する組織の全国連絡会。「無実の人は無罪に！」をスローガンに、えん罪事件の真相を広め、裁判支援、在獄者の処遇改善などを進めている。

~~~~~  
連絡先・問い合わせ：無実のゴビンダさんを支える会・事務局

〒160-0016 東京都新宿区信濃町20 佐藤ビル201 現代人文社気付

TEL：080-6550-4669